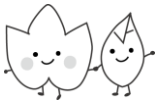
きこえとことばの教室だより



武蔵村山市立第九小学校　きこえとことばの教室
令和５年１０月３日　NO.３

後期の指導がスタートします

校長　吉成　かおる

校庭の木々も少しずつ秋らしい色合いに変わり、行事が盛んな季節となりました。通級している子供たちも在籍学級のさまざまな場面で活躍していることと思います。日頃から、きこえとことばの教室への御理解と御協力に心より感謝申し上げます。

10 月初旬の面談では、個別指導計画をお渡しし、お子さんが前期に通級で頑張ったことや成長した点などを御報告させていただきます。また、後期の指導についても情報共有させていただきます。面談の際に改めて御家庭での様子などをお聞かせいただければ幸いです。

指導や学級での配慮に関する御要望やお困りごとがございましたら、どうぞ担当者に御相談ください。後期も、保護者、在籍学級、きこえとことばの教室が連携し、より良い指導を行えるよう努力してまいります。

通級しているお子さんの配慮事項について

通級しているお子さんについて在籍学級やご家庭での配慮事項について御紹介させていただきます。

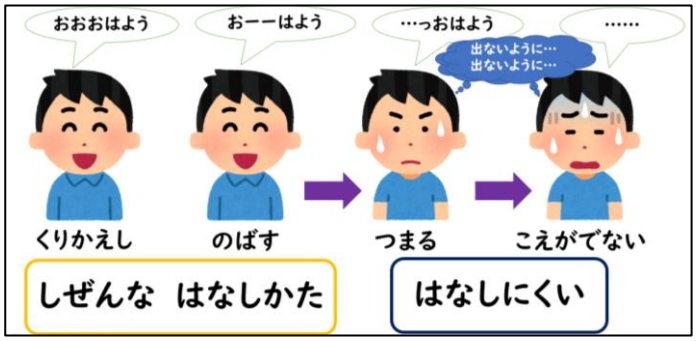
吃音について

「吃音」とは、言葉の初めを繰り返したり伸ばしたりすることです。「あああのね…（連発）」「あーーのね（伸発）」「…っあのね（ブロック）」など、症状が表れる場面は、人によって異なります。

吃音の子にとってくりかえしは自然な状態

吃音の「…っあのね。」とつまる場合、まずは元々自然な吃音の状態である「ぼぼぼく。」や「ぼーく。」という言葉に戻すことも、本人が話しやすくなる方法の１つとされています。声掛けの方法については、担当者と相談してください。

また、話を最後まで黙って聞くことも重要です。リラックスした気持ちで、耳を傾けてください。「あせらないで」「ゆっくり」「落ち着いて」といった表現は使わないようにしましょう。



参考：長野県上田市「吃音研修会」
講師：餅田亜希子先生

学級での配慮

友だちから「何でそう話すの？」と指摘された場面では、以下のように伝えてあげてください。「これが〇〇さんの話しやすい話し方なんだよ。」「わざとそう言っているわけじゃないんだよ。」「これからも話したり遊んだりしてね。」等です。

もし、からかわれることがあれば、きこえとことばの教室担当者に御連絡ください。担当者が理解授業を実施したり、子供たちに説明するための資料を提供することもできます。

チックについて

吃音を持つお子さんは、時にチックを併発することがあります。チックは、本人の意思に関係なく、急にまばたきをする、肩をすくめる、咳払いをする、突然声を上げるなどの動作を繰り返す状態です。吃音とチックについて、それぞれ異なる対応が必要です。チックに関する心配がある場合は、担当に御相談ください。

参考：トゥレット当事者会 HP より

発音の誤りについて

指摘や言い直しをさせない

「たまど食べてちたよ。」と、発音が誤っているなと感じた場合、以下のように対応してください。「たまどじゃなくて、たまごでしょ。」と指摘したり、言い直しをさせたりしないでください。指摘することで、話すのをやめてしまうことがあります。話す量が減ると、言語の育ちが阻害されてしまうことがあります。誤っている時は、「そう、たまご食べてきたのね。」と、「さりげなく、はっきり、ゆっくり」と、正しい発音で返してあげてください。指摘せずにサポートすることで、子供は発話への自信がつき、話す量が増え、言葉の発達を促します。

楽しいおしゃべりを

発音を間違えていても「沢山話す」ということは、口をよく動かすことになるので、発音の改善につながっていきます。また、沢山話すことで、言葉の力を高めることになります。間違えても指摘をしないで、おしゃべりを楽しむ時間を大切にしてください。

きこえとことばの教室での練習中の発音については、連絡帳等でお伝えします。発音できるようになった言葉は宿題にも出すことがありますので、御協力よろしくお願いします。

読み書きの苦手さについて

人の２倍、３倍の努力をしたら苦手な漢字が書ける？

お子さんを励ます意味で、大人が「漢字を１０回書いて覚えられないなら２０回、３０回頑張りなさい」と言うことがあります。しかし、それは読み書きの課題がある子にとっては逆効果です。みんなと同じやり方では定着しないのに、その学び方しか選択肢がないと、「努力することは無意味」という誤った学習の積み重ねになり、学習への無力感につながります。「頑張ればできる！」という声掛けは、読み書きの課題のあるお子さんを苦しめる場合があります。

つまずきの原因をさぐる

読み書きの苦手さには様々な原因があります。そのため、お子さんがどのような理由でつまずいているのかを探ることが非常に重要です。例えば、音を聞き分けることの苦手さ、線の長さや傾きをとらえることの苦手さなど、その背後にある問題は子供によって異なります。

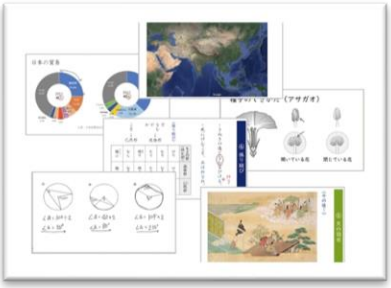
きこえとことばの教室では、さまざまな検査を実施して、お子さんの課題や得意・不得意や興味を把握し、個別に合わせた指導・支援を行っています。

動画やマンガも活用できる！

読み書きが苦手なお子さんは、学習内容を理解する能力があるにもかかわらず、読んだり書いたりすることに多くの労力がかかり、内容理解が追いつかなくなることがあります。

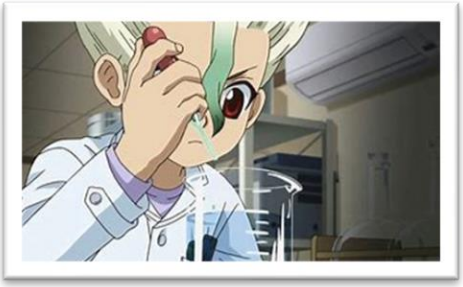
そのような場合は、学習内容をマンガや動画で事前に予習することが効果的とされています。絵や動画を利用することで、内容が視覚的に理解しやすくなります。

オンライン ICT 教材
イーボード



５教科の 2,000 本の映像授業が無料で見られます。
『イーボード』と検索し、学年・教科・単元を選択して下さい。

マンガ：ドクター・ストーン



身近なものを用いた発明でどんどん文明を取り戻していくストーリー。理科が好きになれるマンガです。